

3. 現中間処理施設の概要及び課題

3-1 現中間処理施設の概要

本組合が管理している中間処理施設の概要を表 1-3-1 に示す。

表 1-3-1 印西クリーンセンターの概要

印西クリーンセンター	焼却処理施設	名称	印西クリーンセンター (1,2号炉)	印西クリーンセンター (3号炉)
		所在地	千葉県印西市大塚 1-1-1	
		建設年月	着工：昭和 58 年 9 月 竣工：昭和 61 年 3 月	着工：平成 8 年 9 月 竣工：平成 11 年 3 月
			【ダイオキシン対策工事】 着工：平成 12 年 10 月 竣工：平成 13 年 12 月	
		敷地面積	24,968 m ² (粗大ごみ処理施設含む)	
		建築面積	3,485 m ²	
		延床面積	6,695 m ²	
		建物構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造	
		処理能力	200t/24h (100t/24h×2 基)	100t/24h
		形式	日本鋼管フェルト式往復動 階段火格子 全連続燃焼式焼却炉	日本鋼管往復動水平火格子 全連続燃焼式焼却炉
		ガス冷却方式	廃熱ボイラ式	
		設計施工	日本鋼管株式会社 (現 JFE エンジニアリング株式会社)	
	粗大ごみ処理施設	所在地	千葉県印西市大塚 1-1-1 (焼却施設と併設)	
		建設年月	着工：昭和 59 年 7 月 竣工：昭和 61 年 3 月	
建築面積		637 m ²		
延床面積		1,034 m ²		
処理能力		50t/5h		
形式		横型回転式破砕機		
設計施工	日本鋼管株式会社 (現 JFE エンジニアリング株式会社)			

3-2 現中間処理施設の課題

印西クリーンセンター1,2号炉は稼働開始後 30 年が経過しており、ごみ質の変化や施設の老朽化等により、処理能力が低下している。また、3号炉も稼働開始後 17 年が経過しており、そのため基幹的設備の改良等の大規模な工事を実施している。

このような状況を踏まえ、今後、ごみの適正処理を維持するために、次期中間処理施設整備事業を推進していく必要がある。